

容器包装リサイクル法は地域活性化の糧となるか？

日時：平成 17 年 2 月 22 日（火） 13：30～16：40

場所：せんだいメディアテーク 7F スタジオシアター（180 人）

参加費：無料

主催：廃棄物学会東北支部、廃棄物学会企画委員会、プラスチック化学リサイクル研究会

共催：宮城県、仙台市、循環社会型対応産業クラスター委員会

後援：東北経済連合会

平成 9 年 4 月に本格的に始まった容器包装リサイクル法は、生産者（つくる人）、消費者（使い人）、自治体（集める人）と事業者（リサイクルする人）に対し、良好な環境の維持とわが国経済の持続的な発展に向けた取組みを推進するのに大きな役割を担ってきた。一方、そのために大きな手間ひまと経済的負担がそれぞれに押し掛かり、非効率的な部分も浮き彫りになってきた。容リ法と対象となるものは、生産者や事業者は全国的に展開しているものの、使って、集める行為は「地方・地域」に委ねられている。

このシンポジウムでは、各立場の方から容器包装リサイクル法の現状、果たしている役割と問題点を整理していただき、今後、地方・地域の活性化にどのように活かせるか？また、糧とすることができるか？を命題にして、討論をしていただきます。

司会：中山 亨（東北大学工学研究科 助教授）

13：30 あいさつ

長谷川信夫（廃棄物学会理事 東北学院大学・教授）

13：40 パネルディスカッション

コーディネーター： 柴山 光由（仙台市教育委員）

コメンテーター： 奥脇 昭嗣（東北大学名誉教授）

パネラー：
藤井 康弘（環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室長）
塩谷 操（札幌プラスチックリサイクル㈱代表取締役社長）
広島紀以子（仙台市環境局リサイクル推進課長）
吉岡 敏明（東北大学環境保全センター・助教授）
中井八千代（容器包装リサイクル法の改正を求める全国ネットワーク事務局）

16：30 閉会のあいさつ

溝口忠昭（廃棄物学会東北支部支部長 東北大学環境保全センター・教授）

問合せ先：東北大学環境保全センター
廃棄物学会東北支部事務局
山田 Tel&Fax: 022-217-5875 or 7211



せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1

TEL022-713-3171



せんだいメディアテークへのアクセス

◆地下鉄でおいでの方

仙台駅から泉中央行きで3分、勾当台公園駅下車。
「公園2」出口から徒歩5分。

◆バスでおいでの方

仙台市営バス 仙台駅前・29番（荘内銀行前）のりばから
「定禅寺通経由交通局大学病院」行きで約10分、メディアテーク前下車。

◆徒歩でおいでの方

仙台駅より約20分。

◆タクシーでおいでの方

仙台駅西口タクシー乗り場から約7分。